

地震対策本部対応事項

1. 調査項目

(1) 職員(研究者)の現地調査状況

別紙 1 参照

(2) 医療支援状況

- ・ 医師，看護師の派遣
- ・ 臨床心理士の派遣（心のケア）

別紙 2 参照

(3) 職員・学生のボランティア活動の把握

別紙 3 参照

2. 対応

(1) 学生への対応

入試

- ・ 入学手続
- ・ 二次試験
- ・ 入学式

対応が必要な学生がいなかったため，特段の措置は講じていない。

入学料，授業料免除

入学料免除申請者 1 名
授業料免除申請者 5 名 (4/17 現在)

学生ボランティアに関する情報提供

能登応援ボランティア募集を学生及び教職員に対して周知 (3/29)

(2) 被災職員への特別支援

・ 特別休暇の取得

職員及び職員の配偶者の実家等が被災し，その復旧作業に従事する場合は，特別休暇を付与する。(非常勤職員も同じ扱いとする。)(3/28)

- ・ 見舞金の付与

(3) 本学からの支援

教員(研究者)の地震，災害の調査

医療支援

- ・ 医師，看護師の派遣
- ・ 臨床心理士の派遣（心のケア）

職員ボランティアに関する情報提供

能登応援ボランティア募集を学生及び教職員に対して周知（3/29）

(4) 義捐金の募集

全学職員に対して義援金を募集 4/2 期限 5/11

(5) 大学施設・設備の被害に対する災害復旧，予算の確保

平成 19 年 3 月 25 日に発生した能登半島地震に係る標記の件については、平成 19 年度金沢大学当初予算において計上している予備費を財源として、緊急時に係る補正予算により対応する。

なお、政府等の災害復旧費で措置されるものについては、当該経費を充当する。

3. 情報交換

(1) 関係県・市

石川県企画振興部地域振興課に対し，逐次，情報を提供

(2) 文部科学省

放射性同位元素及び研究用微生物について，別紙資料 2 のとおり文部科学省に報告

(3) その他

対策本部を設置し，学内外に対応窓口を一本化したことを公表（3/29）

- ・ 本学の学術調査等の活動を総合的に把握，支援し，今後の学術調査，復興支援に生かす組織として，対策本部の下に金沢大学能登半島地震学術調査部会を設置（4/5）

- ・ 調査部会の部内向け情報交換 Web サイト「情報交換ラウンジ」を立ち上げ（4/11）

(1) 職員(研究者)の現地調査状況

部局名	職名	氏名	調査目的	日程	備考
自然科学研究科 (環境計画)	教授	北浦 勝	現地調査のため 志賀町、輪島市、穴水町、七尾市	3/25, 3/26	いずれも日帰り
自然科学研究科 (環境計画)	教授	宮島 昌克	被災地域の現地調査のため 門前町、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、氷見市、能登有料道路	3/25, 3/26, 3/27, 3/28 3/29	30日以降も調査予定 いずれも日帰り
自然科学研究科 (環境計画)	助教	村田 晶	現地調査のため 志賀町、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、珠洲市	3/25, 3/26, 3/27, 3/28	いずれも日帰り
自然科学研究科 (環境創成)	教授	鳥居 和之	能登の橋梁、トンネルなどの診断及び補強対策の提言	3/26	国土交通省道路防災ドクター、能登有料道路復旧検討委員会委員よりの依頼
自然科学研究科 (環境計画)	教授 准教授 講師	川上 光彦 沈 振江 小林 史彦	輪島市、七尾市	3/28	
自然科学研究科 (自然計測)	教授	石渡 明	被災地域の現地調査のため 門前町、輪島市、志賀町、富来町等、	3/25, 3/26, 3/27, 3/28, 3/29, 4/1	30日以降も調査予定 いずれも日帰り
自然科学研究科 (自然計測)	教授	平松 良浩	被災地域の現地調査のため 門前町、輪島市、志賀町、富来町等、	3/27, 3/28, 4/1, 4/7	
自然科学研究科 (環境動態)	教授	田崎 和江	被災地域の現地調査のため 輪島市、七尾市等、	4/3~4/4 4/8, 4/10	

自然科学研究科 (環境創成)	教授	前川 幸次 深田 宰史	被災地域の現地調査のため 輪島市、七尾市等、	4/3~4/4	
環日本海域環境研究センター (地球環境計測研究部門)	教授	柏谷 健二 長谷部 徳子	能登半島一帯	4/6	
自然科学研究科 (自然計測)	教授	遠藤 徳孝	能登半島一帯	4/6	
自然科学研究科 (環境動態)	教授	神谷 隆宏 加藤 道雄	能登半島一帯	4/7	
文学部	准教授	青木賢人	門前・輪島地区の地形変化調査	4/2、4/3	日本地理学会災害対応委員会
教育学部 (社会科教育)	准教授	林 紀代美	被災状況・場所の確認と撮影 志賀町から輪島市	3/26、4/2、 4/3	日本地理学会災害対応委員会
地域連携コーディネーター	(非常勤)	宇野 文夫	能登半島地震の被災地(輪島市門前町)へ行き、支援ボランティアセンターの岡本紀雄氏と金沢大学の学生ボランティア派遣にあたっての現地調査と打合せを行った。	3/26	
里山自然学校研究員	(非常勤)	中村 晃規			

(2) 医療支援状況

医療支援（病院部長）

1. 物資支援

- ・薬品（血圧降下剤，風邪薬等） 3月29日の派遣時に持参

2. 医師等の派遣

- ・3月25日（日）11時30分から3月26日（月）20時55分
医師 稲葉（救急部），谷口（卒後臨床研修センター）
看護師 高島，市川
事務 西森（総務係長）
災害派遣医療(DMAT) 自主派遣の要請
- ・3月29日（木）12時から3月30日（金）12時の間で派遣
医師 柿木（内科），太田（小児科）
薬剤師 長瀬，東
看護師 山上，寺下
事務 酒井（医事課係長）
- ・石川県看護協会を通し，4月4日～6日まで被災地へ派遣
看護部 板谷康代，清水千恵子
- ・心の健康センターより依頼を受け，3月27日～29日まで被災地へ派遣
神経科精神科 東間正人
- ・26日9時～27日17時まで 能登病院整形外科へ研修
研修医 小坂正裕
研修医 太田 敬
- ・第3次派遣医療チームの要請で4/3～4/5 14名を派遣
- ・県健康福祉部医療対策課の派遣依頼に基づき，医師1～2名，看護師2名，検査技師1名，薬剤師1名，事務1名で対応 4/11～4/13，4/19～4/21，4/27～4/29
- ・仮設住宅が設置されるまで派遣医師の要請が続く予定

3. 臨床心理士の派遣

- ・県教育委員会からの要請に基づき，輪島市と穴水町の小・中学校の教員研修会に派遣（4月3日）
原田克巳 講師（教育学部附属教育実践総合センター）
鈴木健一 助教授（保健管理センター）

(6)職員・学生のボランティア活動

【 事務職員 】

所属：宝町地区事務部職員 2名
内容：石川県災害対策ボランティア
行き先：輪島市門前町又は穴水町
参加日：3月29日（木）

所属：宝町地区事務部職員 2名
参加日：3月29日（木） 1名
3月30日（金） 1名

【 医療支援 】

- ・看護科学領域 講師 1名
石川県の災害ボランティア（能登応援ボランティア）参加 3/30
- ・看護科学領域 助手 1名
輪島市災害ボランティア本部へ登録 3/29～3/30

【 石川県健康福祉部健康推進課と連携した活動 】旧輪島市の避難所派遣

- ・看護科学領域 助教 1名 4/5～4/7
- ・看護科学領域 講師 1名 4/5～4/7
- ・看護科学領域 大学院生 1名 4/5～4/7
- ・看護科学領域 大学院生 3名 4/4

【 石川県災害対策本部のボランティア参加 】

- ・医療科学領域（検査） 助手 1名 3/31
- ・看護科学領域 助教 1名 3/31
- ・医療科学領域（検査） 教授 1名 4/3
- ・看護科学領域 助教 1名 （医療支援）4/5
- ・看護科学領域 教授 1名 （医療支援）4/6

【 人間社会環境研究科 】

- ・教授 1名
ボランティアのコーディネート，復興支援の全国ネットワークと各地での支援の集会の企画及び運営・実施 門前，穴水，能登 4/1～4/30

【 学生 】

- ・3/28 1名（保健学科看護学専攻）
- ・4/1 2名（地球学科）